
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO **iDWR**

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2011年第49週
(12月5日～12月11日)

- * 2011年12月14日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「E型肝炎」も掲載しています。

平成23(2011)年12月15日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2011年49週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		46週	47週	48週	49週		49週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎					1		1
	結核	91	82	110	84	4,775	397	28,903
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
三類	コレラ					3		10
	細菌性赤痢	2	1	4		81	1	284
	腸管出血性大腸菌感染症	5	3	2	2	254	23	3,781
	腸チフス			1		6		22
	パラチフス					9		21
四類	E型肝炎					9		54
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎				1	26	1	174
	エキノコックス症					1		13
	黄熱							
	オウム病					3		13
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							1
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					2		2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							9
	つつが虫病	1	1			11	24	371
	デング熱		5	1		27	2	100
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)							
	ニバウイルス感染症							
	日本紅斑熱					1	1	173
	日本脳炎					1		8
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							6
	マラリア				1	25	1	73
	野兎病							
	ライム病					3		7
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽							3	
レジオネラ症		2	2	1	68	9	770	
レプトスピラ症					5		25	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		46週	47週	48週	49週	年累計	49週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	5	2	2	3	163	9	768
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)		2		1	36	1	231
	急性脳炎 *2				2	19	4	239
	クリプトスポリジウム症					2		8
	クロイツフェルト・ヤコブ病					13		125
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					28	2	185
	後天性免疫不全症候群	9	6	6	8	381	16	1,382
	ジアルジア症				1	11	2	61
	髄膜炎菌性髄膜炎					2		12
	先天性風しん症候群							1
	梅毒	4	5	4	8	229	8	762
	破傷風			1		8		109
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			2	1	5	2	64
	風しん	1	1			30	6	362
麻しん		3			176	3	429	
2011/12/14集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 84件 肺結核 37件、その他の結核 45件、肺結核及びその他の結核 2件、年齢は10歳未満 4件(うち5歳未満 1件)、10代 1件、20代 10件、30代 13件、40代 16件、50代 11件、60代 11件、70代 11件、80代 6件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 78件、中国 1件、韓国 1件、フィリピン 1件、国内及び中国及びニュージーランド 1件、国内及び中国 2件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 2件 患者 1件、無症状病原体保有者 1件、血清型・毒素型はO157 VT1・VT2 1件、O157 VT2 1件、年齢は10代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路はその他(不明) 2件であった。

〈四類感染症〉

A型肝炎 1件 患者、年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路は経口感染であった。

マラリア 1件 患者、病型は四日熱、年齢は20代、推定感染地はモザンビークであった。

レジオネラ症 1件 肺炎型、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は水系感染であった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 3件 腸管アメーバ 3件、年齢は40代 1件、50代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 2件、インドネシア 1件、推定感染経路は性的接触(異性間) 1件、経口感染 1件、その他(不明) 1件であった。

ウイルス性肝炎 1件 B型、年齢は20代、推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触(性別不明)であった。

急性脳炎 2件 病原体は不明 2件、年齢は10歳未満 2件(うち5歳未満 1件)、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、その他(予防接種の疑い) 1件であった。

後天性免疫不全症候群 8件 AIDS 2件、無症候キャリア 5件、その他 1件、AIDSの年齢は50代 2件、無症候キャリア及びその他の年齢は20代 1件、30代 3件、40代 2件、推定感染地は国内 6件、国外(不明) 1件、不明 1件、推定感染経路は性的接触 7件(同性間 6件、異性間 1件)、不明 1件であった。

ジアルジア症 1件 年齢は80代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。

梅毒 8件 早期顕症梅毒Ⅰ期 1件、早期顕症梅毒Ⅱ期 3件、晩期顕症梅毒 2件、無症候梅毒 2件、年齢は20代 2件、30代 3件、40代 1件、50代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 8件、推定感染経路は性的接触 7件(同性間 4件、異性間 3件)、その他(不明) 1件であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件 遺伝子型はvanB、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。

※第48週で報告のあった、三類 細菌性赤痢 1件は削除された。

定点把握対象疾患 報告数 2011年49週

定点種別	対象疾患	2011年					報告医療機関数	定点医療機関数
		46週	47週	48週	49週	定点当たり		
小児科	RSウイルス感染症	94	112	111	172	0.66	262	264
	咽頭結膜熱	60	60	76	94	0.36		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	521	574	632	643	2.45		
	感染性胃腸炎	1,681	1,944	2,864	3,811	14.55		
	水痘	359	438	500	618	2.36		
	手足口病	146	130	98	90	0.34		
	伝染性紅斑	65	63	57	56	0.21		
	突発性発しん	160	164	162	153	0.58		
	百日咳	8	8	5	11	0.04		
	ヘルパンギーナ	25	19	5	12	0.05		
	流行性耳下腺炎	81	80	101	80	0.31		
	川崎病(注1)	8	8	4	4	0.02		
	不明発しん症(注1)	21	15	26	19	0.07		
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	36	29	35	102	0.25	414	419
眼科	急性出血性結膜炎						37	39
	流行性角結膜炎	15	20	14	19	0.51		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)		1	3	1	0.04	25	25
	無菌性髄膜炎	2	4	2	1	0.04		
	マイコプラズマ肺炎	42	66	40	50	2.00		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1	1	1	1	0.04		
	インフルエンザ入院(注4)				1	0.04		
2011/12/14集計								

(注1) 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

(注4) 36週より開始

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・RSウイルス感染症の定点当り報告数は増加した。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当り報告数は増加している。
- ・感染性胃腸炎の定点当り報告数は増加している。
- ・水痘の定点当り報告数は増加している。
- ・マイコプラズマ肺炎の定点当り報告数は増加し、過去5年平均と比較して高い値で推移している。

(小児科・内科定点医療機関からのコメント)

千代田区

- ・二枚貝による胃腸炎が増加している様です。

新宿区

- ・感染性胃腸炎が子供から親に移っているケースが多い。

台東区

- ・胃腸炎が増加しています。

世田谷区

- ・マイコプラズマ肺炎 10名、アデノウイルス迅速キット陽性 1名。
- ・感染性胃腸炎、溶連菌、水痘が多い。

豊島区

- ・マイコプラズマ肺炎 5名。

荒川区

- ・感染性胃腸炎患者からの便培養 病原性大腸菌 O181、カンピロバクター(同一検体から)。

板橋区

- ・感染性胃腸炎 病原性大腸菌 O1 1名。

八王子市

- ・アデノウイルス感染症 0歳児(11ヶ月)、1歳児 各1名。
- ・アデノウイルス感染症 1歳児 1名、
- ・ロタウイルス腸炎 0歳児 1名。

南多摩

- ・水痘が流行しています。
- ・管内の幼稚園(1施設)で水痘の流行あり。

多摩小平

- ・病原性大腸菌 21名、ノロウイルス腸炎 3名、
- ・マイコプラズマ肺炎 4名。

※ インフルエンザの迅速診断結果及びコメントは14頁にまとめて記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2011年49週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～6か月	26	1		20	8			4	1	
～1歳	30	2	2	222	26	3	3	61	1	1
1歳	64	21	8	686	78	25	5	72		3
2歳	18	15	24	416	88	16	6	14		2
3歳	7	12	41	371	105	11	7	1	1	2
4歳	7	9	91	377	114	15	10	1		
5歳	8	4	79	349	69	9	5			1
6歳	2	10	79	242	50	1	6			1
7歳	1	3	94	160	31	4	5		1	
8歳	1	5	58	124	23	1	3		2	
9歳		4	55	106	11	1	3			
10～14歳	5	2	83	291	14	4	2			1
15～19歳			6	40						
20～29歳	3	6	23	407	1		1		5	1
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	172	94	643	3811	618	90	56	153	11	12
先週比	61	18	11	947	118	-8	-1	-9	6	7

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～6か月		1	2			
～1歳			2	1		
1歳	2	2	4	4		3
2歳	5		4	5		1
3歳	15	1	2	7		1
4歳	17		1	11		
5歳	13		3	8		1
6歳	5			7		1
7歳	8			6		
8歳	6			4		
9歳	2			6		
10～14歳	6			13		1
15～19歳			1	2		
20～29歳	1			7		
30～39歳				9		4
40～49歳				5		4
50～59歳				5		1
60～69歳				2		2
70～79歳						
80歳以上						
合計	80	4	19	102	-	19
先週比	-21		-7	67	-	5

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2011年49週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳		
30～39歳		
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	-	-

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2011年49週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田	2		2	11	6			1		
中央区		1	1	22	3	1		3		
みなと	5	9	1	83	7	2		4	1	
新宿区	16	2	4	58	14	1		2	2	
文京			4	33	4	1	1	2		
台東	1		5	37	4			2		1
墨田区		1	9	45	19	2	1	2		
江東区	11	4	23	235	39	9	5	11		
品川区	2	1	20	117	14			6		
目黒区			3	28	2	3		1		
大田区	34	6	37	312	20	5	1	6	3	
世田谷	7	25	53	305	12	25	1	9	2	
渋谷区	1	1	5	43	8					
中野区	1		2	117	6	2	1	1		
杉並			28	165	12	3		7		
池袋			2	19	3			1		
北区	1		8	94	4	2		4		
荒川区	2		11	60	10	3		4		
板橋区		2	6	63	19	3	4	5		
練馬区	3		21	211	27	3		10		1
足立	16	1	22	239	27	4	2	9		4
葛飾区		3	26	123	21	1	2	5		
江戸川	8	7	22	222	46	6	1	7		1
八王子市	11	5	47	166	31	2	7	11		
町田市	2		88	208	36			6		
西多摩		1	21	74	31	3	4	2		
南多摩	9	3	13	123	32	2	3	9		1
多摩立川	11	4	24	176	44	3	4	3	3	1
多摩府中	9	4	74	222	68	3	15	13		
多摩小平	20	14	59	200	49	1	1	7		3
島しょ			2				3			
東京都合計	172	94	643	3,811	618	90	56	153	11	12

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2011年49週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				1		
中央区				15		1
みなと	1			1		
新宿区	6			7		1
文京	2			2		3
台東						
墨田区			2	1		
江東区	1		1	1		1
品川区						
目黒区	1					
大田区	8		1	2		
世田谷	4		6	6		
渋谷区	1					4
中野区	11			1		
杉並	6			1		
池袋				1		
北区	1	1				1
荒川区	1	1				
板橋区	2			3		
練馬区	2		1			
足立	2		1	2		1
葛飾区				18		
江戸川	3	1		25		
八王子市	10		1	2		
町田市	1		2	3		
西多摩			1			
南多摩	3					
多摩立川	6	1	1	3		3
多摩府中	4		1	7		1
多摩小平	4		1			3
島しょ						

東京都合計	80	4	19	102	-	19
-------	----	---	----	-----	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
町田市		
西多摩		
南多摩		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	-	-
-------	---	---

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2011年49週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田	0.67		0.67	3.67	2.00			0.33		
中央区		0.33	0.33	7.33	1.00	0.33		1.00		
みなと	0.83	1.50	0.17	13.83	1.17	0.33		0.67	0.17	
新宿区	2.00	0.25	0.50	7.25	1.75	0.13		0.25	0.25	
文京			1.00	8.25	1.00	0.25	0.25	0.50		
台東	0.25		1.25	9.25	1.00			0.50		0.25
墨田区		0.20	1.80	9.00	3.80	0.40	0.20	0.40		
江東区	1.22	0.44	2.56	26.11	4.33	1.00	0.56	1.22		
品川区	0.25	0.13	2.50	14.63	1.75			0.75		
目黒区			0.60	5.60	0.40	0.60		0.20		
大田区	2.62	0.46	2.85	24.00	1.54	0.38	0.08	0.46	0.23	
世田谷	0.44	1.56	3.31	19.06	0.75	1.56	0.06	0.56	0.13	
渋谷区	0.25	0.25	1.25	10.75	2.00					
中野区	0.14		0.29	16.71	0.86	0.29	0.14	0.14		
杉並			2.80	16.50	1.20	0.30		0.70		
池袋			0.50	4.75	0.75			0.25		
北区	0.14		1.14	13.43	0.57	0.29		0.57		
荒川区	0.50		2.75	15.00	2.50	0.75		1.00		
板橋区		0.20	0.60	6.30	1.90	0.30	0.40	0.50		
練馬区	0.23		1.62	16.23	2.08	0.23		0.77		0.08
足立	1.23	0.08	1.69	18.38	2.08	0.31	0.15	0.69		0.31
葛飾区		0.38	3.25	15.38	2.63	0.13	0.25	0.63		
江戸川	0.67	0.58	1.83	18.50	3.83	0.50	0.08	0.58		0.08
八王子市	1.00	0.45	4.27	15.09	2.82	0.18	0.64	1.00		
町田市	0.25		11.00	26.00	4.50			0.75		
西多摩		0.13	2.63	9.25	3.88	0.38	0.50	0.25		
南多摩	1.00	0.33	1.44	13.67	3.56	0.22	0.33	1.00		0.11
多摩立川	0.79	0.29	1.71	12.57	3.14	0.21	0.29	0.21	0.21	0.07
多摩府中	0.45	0.20	3.70	11.10	3.40	0.15	0.75	0.65		
多摩小平	1.33	0.93	3.93	13.33	3.27	0.07	0.07	0.47		0.20
島しょ			2.00				3.00			

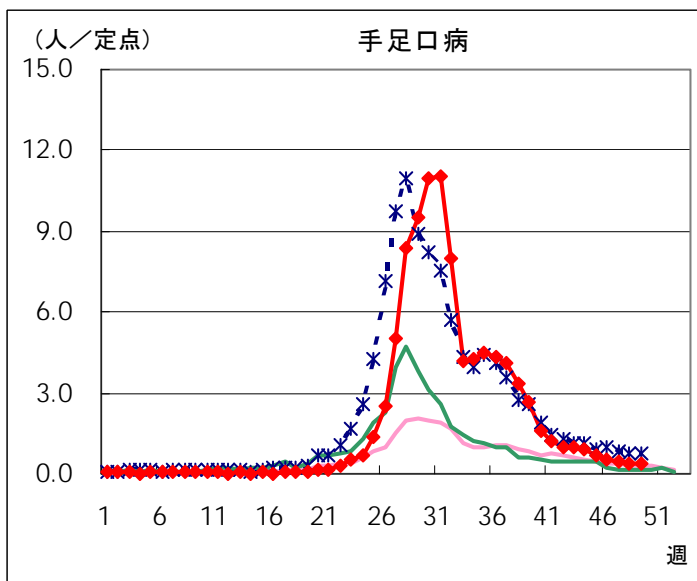
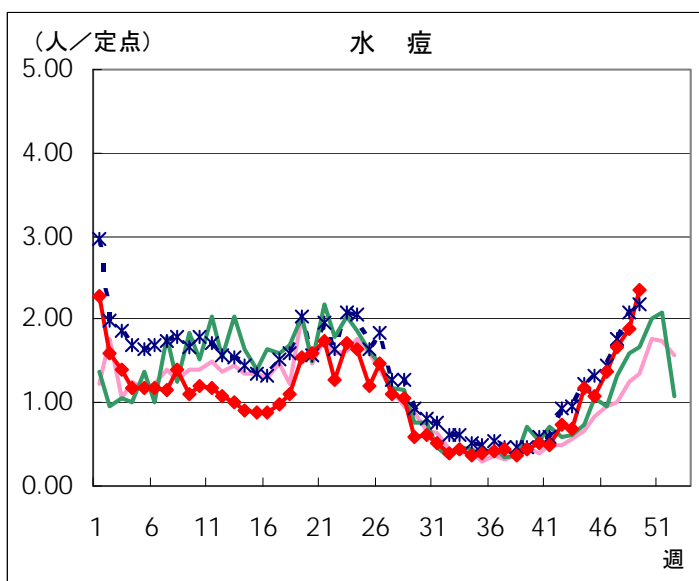
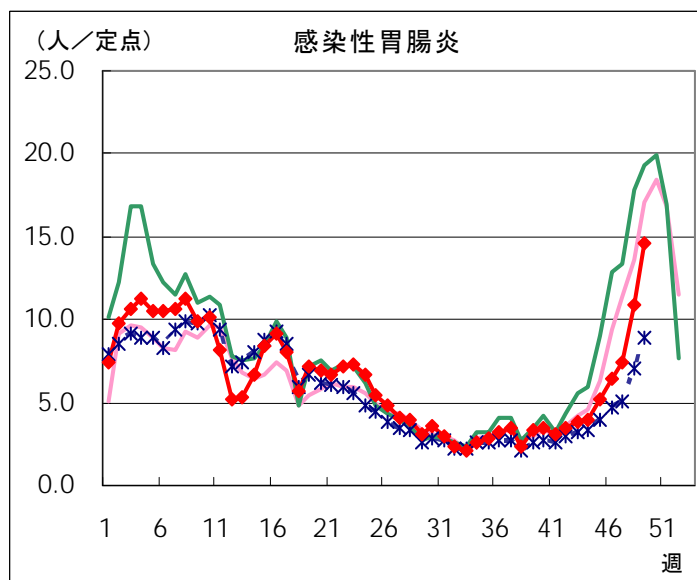
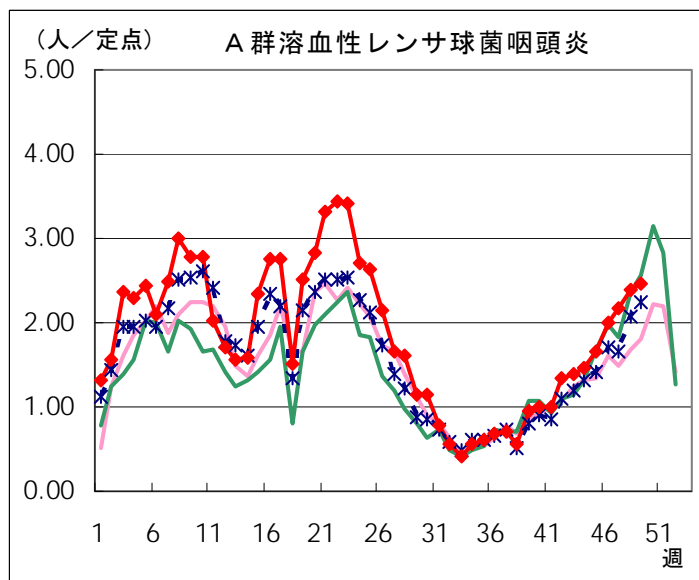
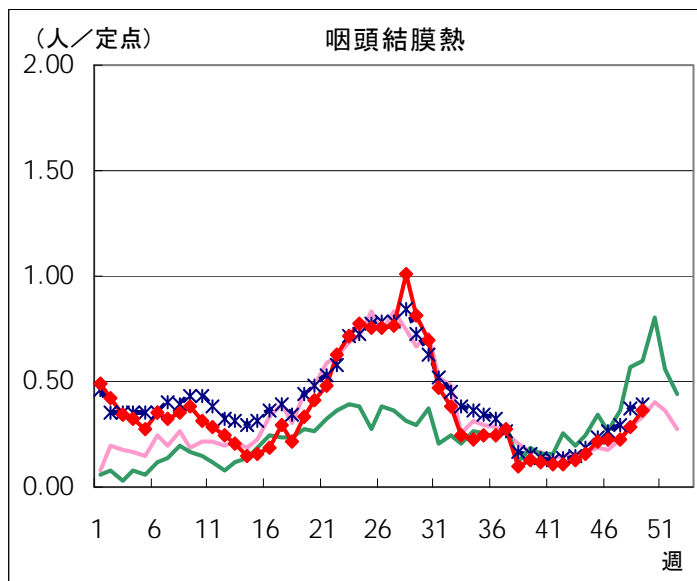
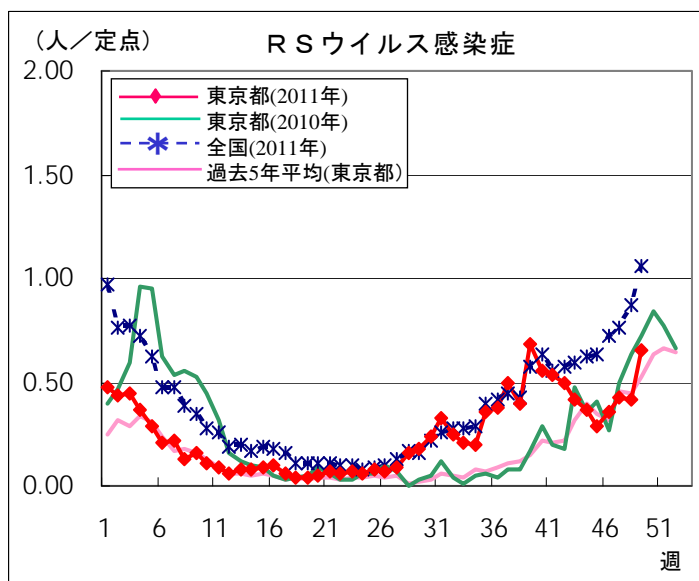
東京都	0.66	0.36	2.45	14.55	2.36	0.34	0.21	0.58	0.04	0.05
-----	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------

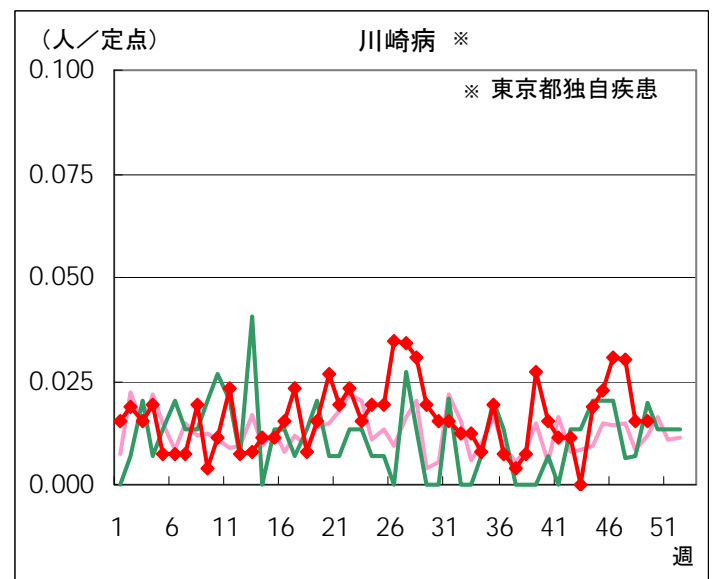
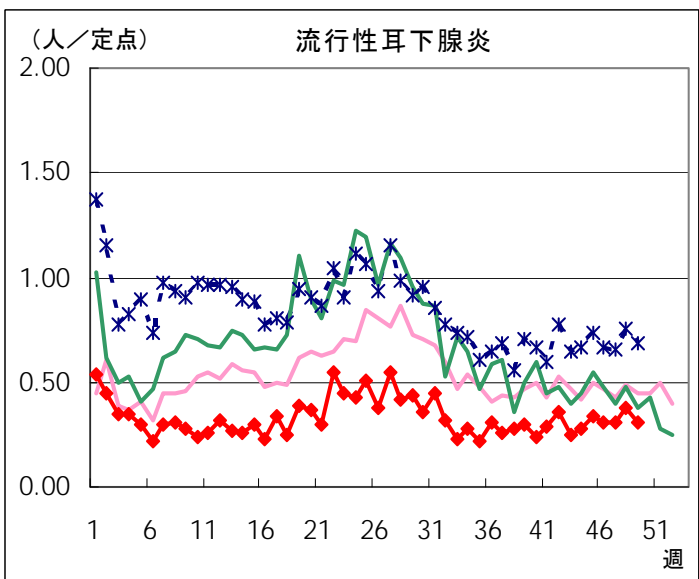
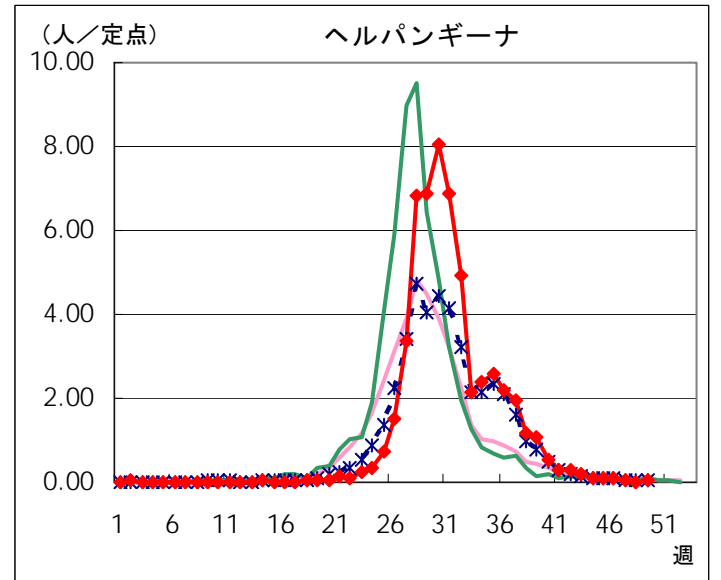
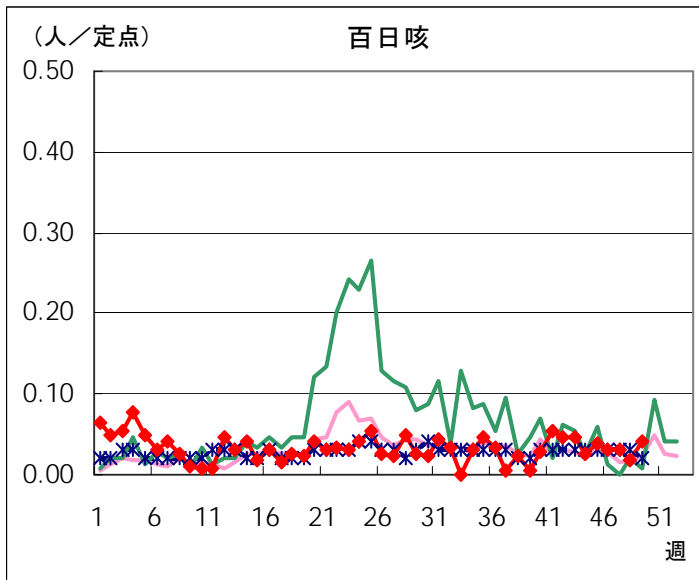
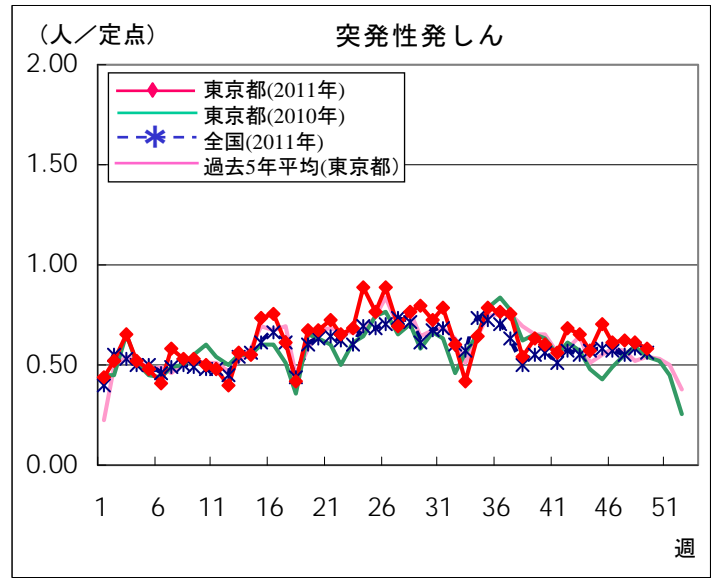
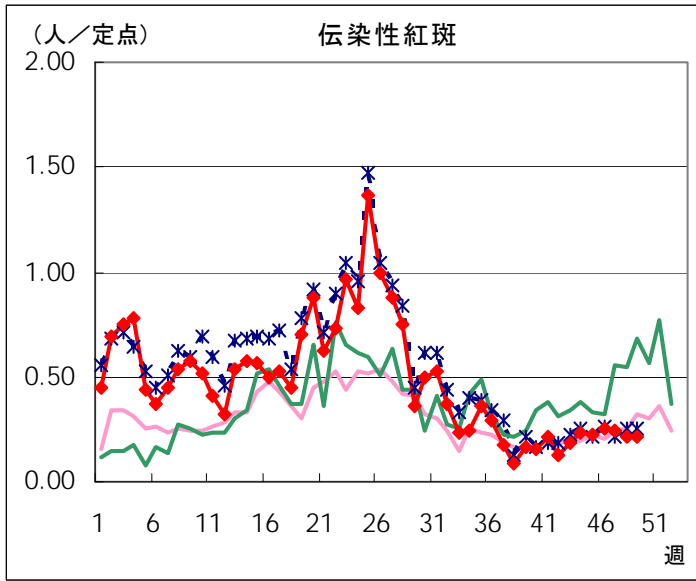
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				0.25		
中央区				3.00		1.00
みなと	0.17			0.11		
新宿区	0.75			0.58		1.00
文京	0.50			0.29		3.00
台東						
墨田区			0.40	0.13		
江東区	0.11		0.11	0.07		1.00
品川区						
目黒区	0.20					
大田区	0.62		0.08	0.10		
世田谷	0.25		0.38	0.24		
渋谷区	0.25					4.00
中野区	1.57			0.09		
杉並	0.60			0.06		
池袋				0.17		
北区	0.14	0.14				1.00
荒川区	0.25	0.25				
板橋区	0.20			0.19		
練馬区	0.15		0.08			
足立	0.15		0.08	0.10		0.50
葛飾区				1.38		
江戸川	0.25	0.08		1.32		
八王子市	0.91		0.09	0.11		
町田市	0.13		0.25	0.23		
西多摩			0.13			
南多摩	0.33					
多摩立川	0.43	0.07	0.07	0.14		1.50
多摩府中	0.20		0.05	0.23		0.50
多摩小平	0.27		0.07			1.50
島しょ						

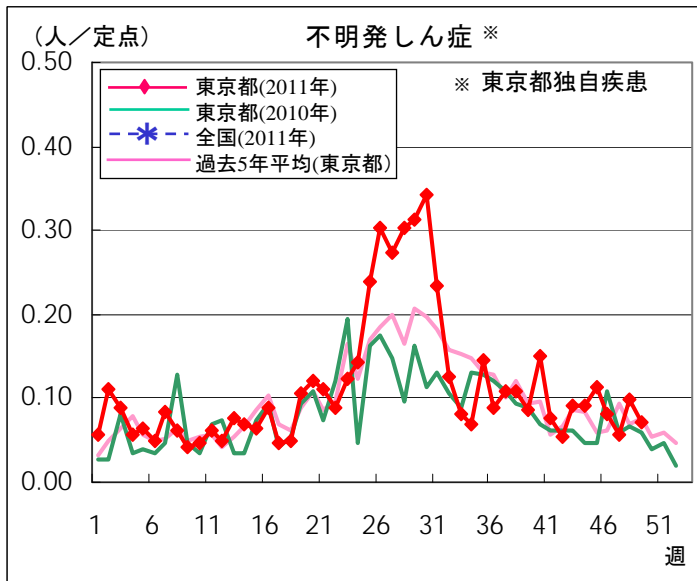
東京都	0.31	0.02	0.07	0.25	-	0.51
-----	------	------	------	------	---	------

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2011年49週現在

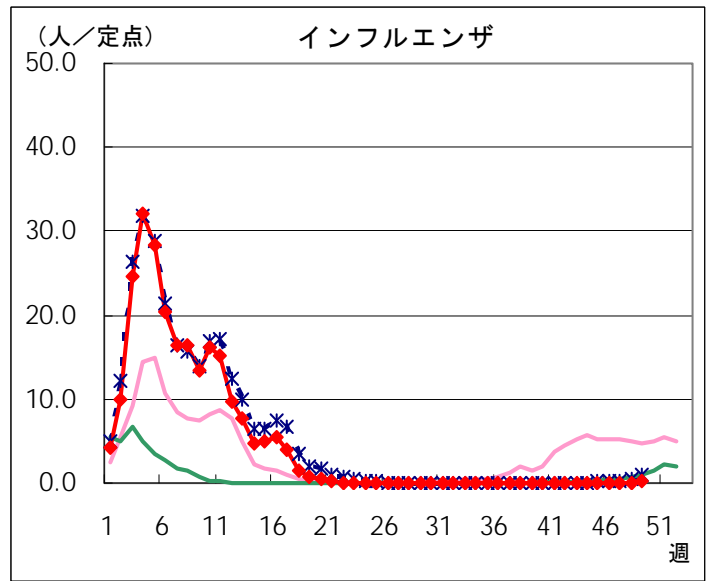
◆ 小児科定点



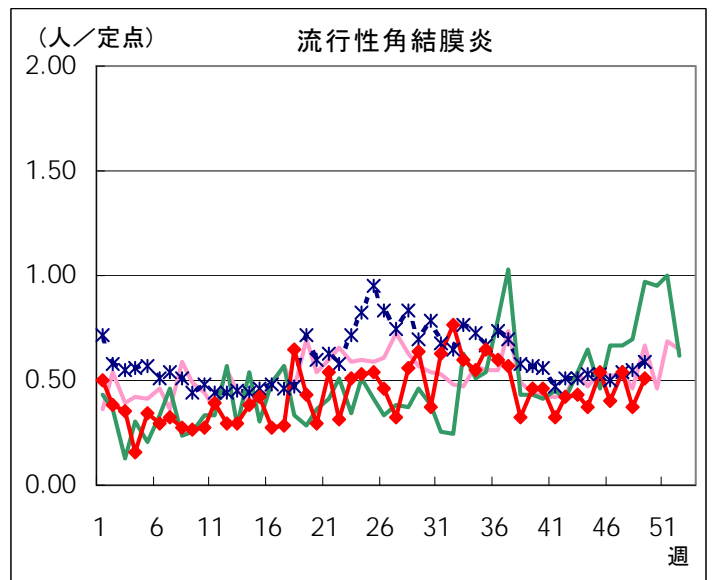
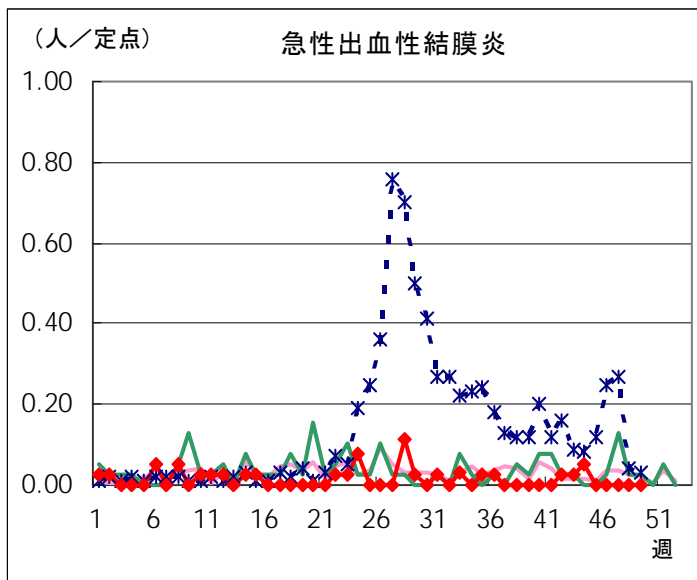




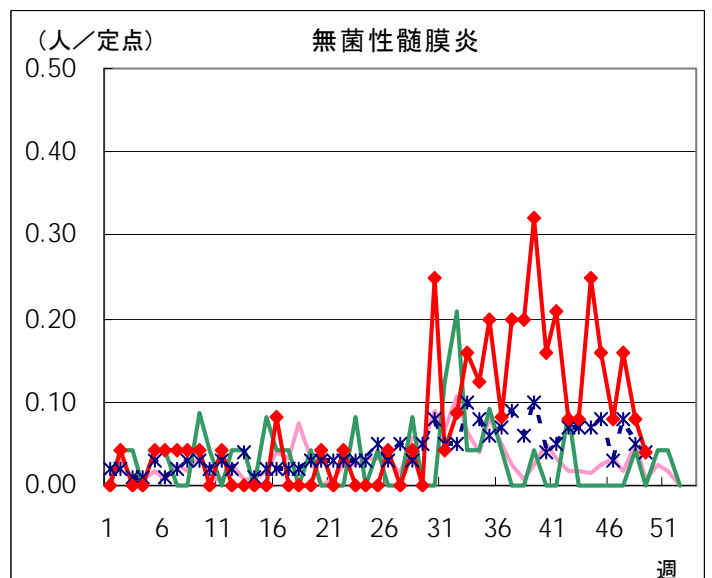
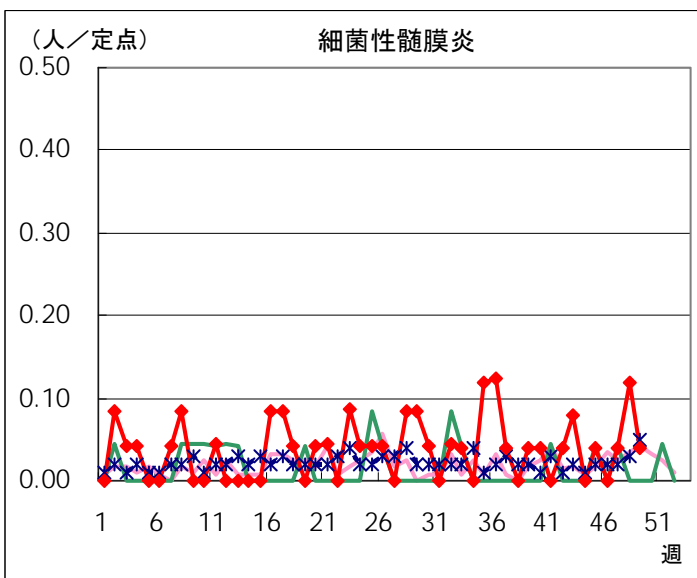
◆ インフルエンザ定点

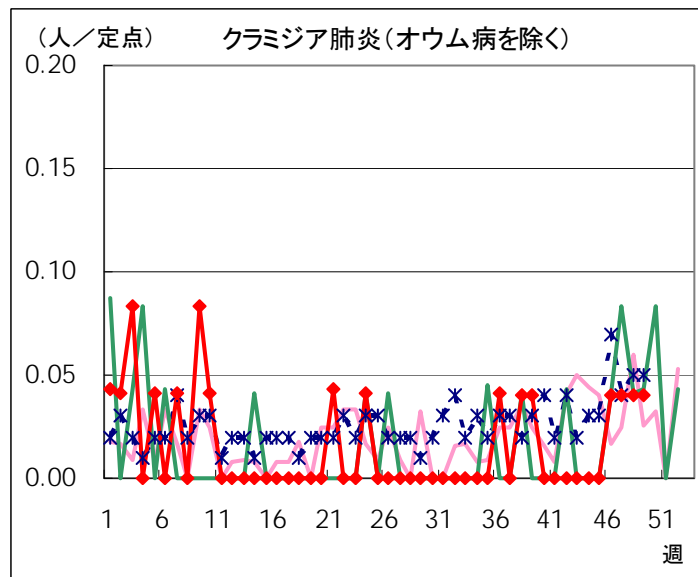
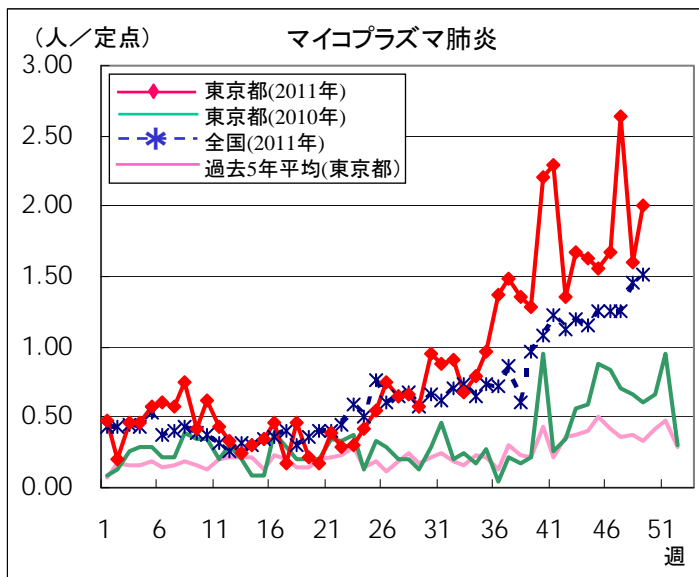


◆ 眼科定点

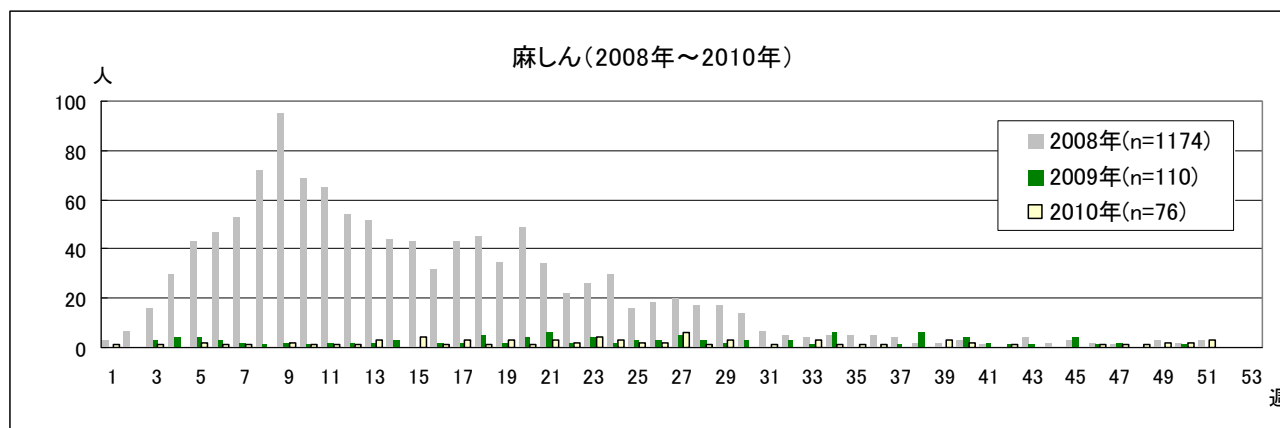
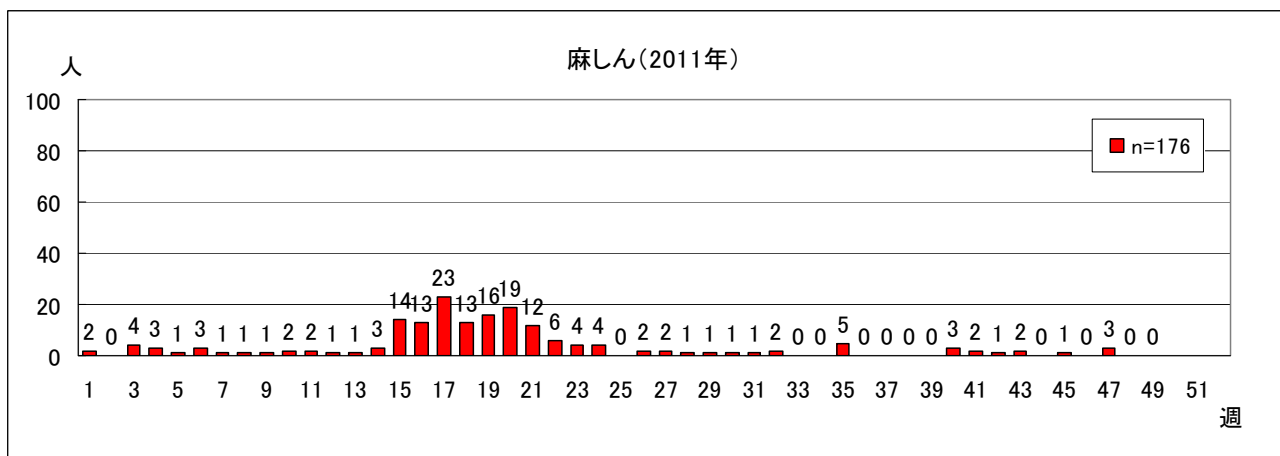


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2011年49週現在



定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
11/23	急性気管支炎	7M	咽頭拭い液	RSウイルス	遺伝子
11/28	ウイルス性発しん症	1	咽頭拭い液	ライノウイルス ヒトヘルペスウイルス 6型・7型	
11/26	感染性胃腸炎	1	糞便	アデノウイルス	
11/28	感染性胃腸炎	1	糞便	ノロウイルス(GⅡ)	
11/23	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス、RSウイルス	
11/16	熱性けいれん重積	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
12/1	ミオパチー	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
11/29	感染性胃腸炎	2	直腸拭い液	A群ロタウイルス	抗原
11/28	不明発しん症	2	記載なし	ヒトヘルペスウイルス 6型・7型	遺伝子
11/30	手足口病	3	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
11/26	肺炎	3	咽頭拭い液	RSウイルス	
11/30	右耳下腺炎	3	咽頭拭い液	アデノウイルス、EBウイルス	
11/28	流行性耳下腺炎	3	記載なし	ライノウイルス、ムンプスウイルス	
11/28	咽頭炎	5	咽頭拭い液	アデノウイルス、ライノウイルス	
11/30	扁桃腺炎	5	咽頭拭い液	ライノウイルス サイトメガロウイルス	
11/22	インフルエンザ	7	咽頭拭い液	インフルエンザウイルス AH3型 [※]	
12/1	インフルエンザ	25	咽頭拭い液	インフルエンザウイルス AH3型 [※]	
11/25	風邪	32	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
11/24	デング熱	44	血清	デングウイルス(IgM)	抗体

※ 下記「遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数」の集計数に含まれる。

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

検出件数	インフルエンザウイルス			
	AH1型 [*]	AH3型	B型	AH1pdm09 ^{*型}
48週	0	2	0	0
2011-2012年 シーズン累計 ^{**}	0	7	2	0

* 2011年4月1日から新型インフルエンザ(AH1N1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記を AH1pdm09 とします。

** 2011-2012シーズンの開始は第36週(2011年9月5日～9月11日)

◇定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関からいただきました、インフルエンザ迅速診断結果とコメントを下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果			医療* 機関数	備 考
	A型	B型	記載なし		
新宿区	1	0	0	1	
文京	0	1	0	1	
江東区	1	0	0	1	
世田谷	2	0	0	1	
中野区	1	0	0	1	
八王子市	1	1	0	2	
多摩府中	0	2	0	2	
合 計	6	4	0	9	

* 迅速診断結果をご報告いただいた医療機関数

病原体検査情報 【検出病原体別・週別】

検出病原体		2011年							
		41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週
ウイルス	アデノウイルス		3	1	7	3	3	8	4
	ライノウイルス	4	5	9	7	11	11	6	5
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	9	12	13	8	5	3	1	2
	単純ヘルペスウイルス		2					1	
	水痘・帯状疱疹ウイルス		1						
	ヘルペスウイルス6/7	3		4	3	9	2	4	5
	EBウイルス		3	5	2	1	1		1
	サイトメガロウイルス			1	1				1
	ムンプスウイルス	3	2			1	4		1
	麻疹ウイルス								
	風しんウイルス								
	パルボウイルスB19			1			2		
	RSウイルス	6	1	1		2	4	3	3
	ノロウイルス			2	1	3	1		1
	ロタウイルス					1			1
インフルエンザウイルスAH1									
インフルエンザウイルスAH3	1					3	1	2	
インフルエンザウイルスB			1			1			
インフルエンザウイルスAH1pdm09									
デングウイルス(抗体を含む)								1	
その他のウイルス					1	1			
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ		1						
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌					2	2	1	
	百日咳	3	1	1			4		
	マイコプラズマ	3	1	1		1	3		
	その他の細菌	5	2	2		1	5	1	
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2011年41週～2011年48週

臨床診断名 検出病原体		インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数		10	43	94	29	41	3	8	6	1	18	1	36	18	2	2	1	83	
ウイルス	アデノウイルス		2	6	3		3		2		3		1	2				7	
	ライノウイルス		8	23	3			1	1		3		7	3				9	
	ポリオウイルス																		
	コクサッキーウイルスA群																		
	コクサッキーウイルスB群																		
	エコーウイルス																		
	エンテロウイルス71																		
	その他のエンテロウイルス		3	8		10				1	14		6					11	
	単純ヘルペスウイルス										2		1						
	水痘・帯状疱疹しんウイルス														1				
	ヘルペスウイルス6/7										2		18					10	
	EBウイルス					1						1	4	3			1	3	
	サイトメガロウイルス		1										2						
	ムンプスウイルス													9				2	
	麻疹しんウイルス																		
	風しんウイルス																		
	パルボウイルスB19													2				1	
	RSウイルス		1	16								1							2
	ノロウイルス					8													
	ロタウイルス					2													
	インフルエンザウイルスAH1																		
	インフルエンザウイルスAH3		7																
インフルエンザウイルスB		2																	
インフルエンザウイルスAH1pdm09																			
デングウイルス(抗体を含む)																		1	
その他のウイルス					2														
細菌	カンピロバクター																		
	サルモネラ				1														
	腸管出血性大腸菌																		
	その他の腸管系病原菌																		
	溶血性レンサ球菌							5											
	百日咳		9																
	マイコプラズマ			9															
	その他の細菌		12	1				2										1	
その他の病原体																			

<感染症豆知識>

E型肝炎

E型肝炎はE型肝炎ウイルス(Hepatitis E virus : HEV)の経口感染によって引き起こされる急性肝炎である。本疾患は、臨床的にはA型肝炎に類似し、平均40日の潜伏期の後に発熱と悪心、腹痛等の消化器症状が急速に始まる。慢性化することは少なく、一般的に予後が良好な疾患である。しかし、A型肝炎と比べ劇症化した場合の致死率が高く、特に妊婦が妊娠晩期に感染し劇症化した場合には、20～30%の高い致死率となるとの報告もある。

HEVの遺伝子型は現在Ⅰ～Ⅳの4つの型に分類されており、日本国内で検出されるHEVは輸入感染例を除き、Ⅲ型とⅣ型のみである。Ⅰ型は主として欧米や中国等で、Ⅱ型はメキシコで報告されている。

これまで日本におけるE型肝炎の患者発生数は非常に少なく、海外からの帰国者に発症者が多かったことから、輸入感染症の1つと考えられていた。しかし、近年、HEV常在地への渡航歴のない急性肝炎患者からHEV遺伝子(Ⅲ型およびⅣ型)が検出されたことに加え、国内産のブタからも遺伝学的に極めて類似のウイルス(Ⅲ型)が検出されたことから、HEVは既に国内に土着化していることが考えられ、本疾患は現在、人獣共通感染症として認識されている。

また、国内での狩猟による鹿や猪等の野生動物肉の生食によるE型肝炎の発症と劇症化による死亡例や、流通豚肉等の喫食による発症例が報告されたことから、食品衛生上の問題としても重要視され、厚生労働省は「食肉を介するE型肝炎ウイルス感染事例について」の通知(平成15年8月)により注意喚起を行っている。

E型肝炎は、HEVに汚染された食物、水の摂取により感染することが多いので、予防には手洗い、飲食物の加熱が重要である。ワクチンはまだ開発されていない。

E型肝炎は、2003年11月より四類全数把握疾患に指定され、国内で確認されたE型肝炎患者数は、2007年56例、2008年46例、2009年56例、2010年66例であり、東京都内の発生動向は年間約3～9例で推移している。

(文責 東京都健康安全研究センター 杉下由行)